

1. 基本構想

1.1. 施設整備の基本方針

新総合体育館は、「誰もが快適に使用でき、健康づくりを楽しむ、にぎわいと交流、安心安全の拠点」を目指す施設とします。

「誰もが快適に使用」

ユニバーサルデザインに配慮した設計により、子どもから大人、高齢者や障がいを持った方、男女の隔てなく、快適に使用できる施設として整備します。また、一人の利用も団体での利用も、スポーツを「する人」、「みる人」、「ささえる人」等様々な立場の人に必要な機能・設備を備えます。

「健康づくりを楽しむ」

スポーツだけでなくレクリエーションの利用により、市民が楽しみながら日常的に体を動かすことで健康増進につながるような体育館として整備します。

「にぎわいと交流」

スポーツ活動から大会、イベント等、様々な活動を支える、にぎわいと交流が生まれる施設として整備します。併せて、これまでの市内の体育館では対応できなかった競技スポーツの大規模大会としての利用により、さらなるにぎわいと交流を生み出します。

「安心安全の拠点」

防災拠点としての機能の持たせることで、市民の安心安全のよりどころとなる拠点として整備します。

1.2. 新総合体育館の整備機能・規模

新総合体育館は、建設後長期にわたり利用されることから、機能的かつ快適な施設として整備することが望まれます。新総合体育館の利用用途に応じた必要機能・設備を整備します。

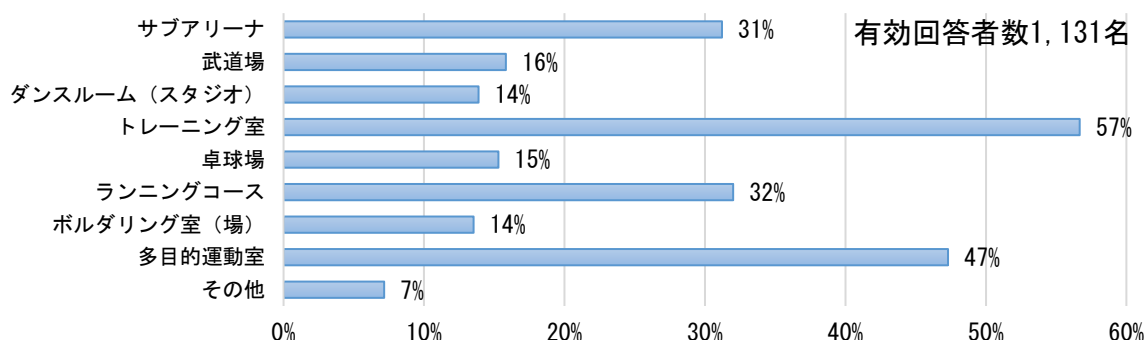
新総合体育館を利用する競技スポーツ科目等については、現在の市民体育館の利用状況から下表のように想定します。

表 新総合体育館の利用用途と必要施設の想定

分類	体育館を利用する想定競技種目	必要となる機能・設備例
ボールゲーム	バレーボール	コート、更衣室、シャワー室、トイレ、器具庫、スタッフルーム、給湯室、医務室、放送室、ラウンジ等
	ソフトバレー	
	卓球	
	バスケットボール	
	バドミントン	
	ソフトテニス	
	ハンドボール	
武道	空手道	武道場、更衣室、シャワー室、トイレ、器具庫、スタッフルーム、給湯室、医務室、放送室、ラウンジ等
	フルコンタクト空手道	
	少林寺拳法	
	太極拳	
	剣道	
	合気道	
	柔道	
	銃剣道	
その他スポーツ	フラダンス	ダンスルーム、多目的運動室、トレーニング室、更衣室、シャワー室、トイレ、器具庫、スタッフルーム、給湯室、医務室、放送室、ラウンジ等
	軽スポーツ	
	新体操	
	体操	
	舞踊	
	バトントワリング	
その他	会議	会議室、放送設備（室）、アリーナ（広い運動スペース）、休憩スペース、トイレ、スタッフルーム、給湯室、医務室等
	放送設備	
	あすなろ教室（学校教育課）	
	親子のスポーツテスト（健康管理課）	
	岐阜県障がい福祉事業所連絡会	
	市特別支援教育連合スポーツ大会（市特別支援教育推進協議会等）	
	各務原市民生委員児童委員協議会スポーツレクリエーション大会	
	かかみがはらっ子大集合（市子ども会育成協議会）	

また、市民アンケートより、メインアリーナ以外のスポーツ施設及びその他付属設備としては以下の希望があります。

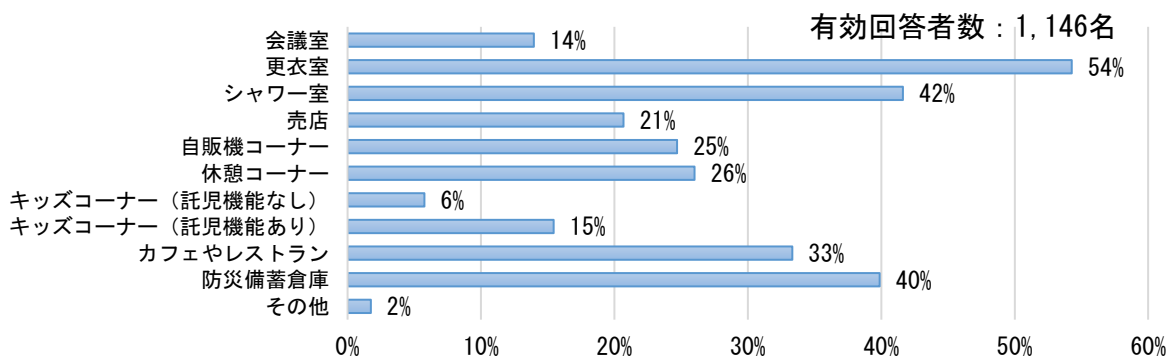
○メインアリーナ以外のスポーツ施設



<その他回答>

アスレチック/広い和太鼓練習場/ジャグジー/ウォーキングコース/キッズアスレチック/トランポリン/ヨガ/女性でも入りやすいトレーニング室/プール (トレーニング用。水泳競技用。幼児から小学生が利用できるちょっとした遊具のあるプール)/テニスができる所/子供が遊べる施設 (室内公園、遊具室)/バッティングセンター/ボウリング場/カラオケルーム/親子等でも気軽に来られるような施設/浴場等の運動後の充実施設/サイクリングコース/防音スタジオ/時代に合わせて10年・20年先に対応できるようなスペース/流行のスポーツ対応/ボルダリング/ランニングコース/スカッシュ/スケート/カーリング/アイスホッケー/フットサル場/音楽室

○付属設備



<その他回答>

災害時に使えるかまどベンチやマンホールトイレ/その他災害時にも活用できそうな設備 (台所などの水まわり。調理室 (料理教室等日常利用も想定)) 雨の日や猛暑日などに遊べる場所/防災関係/非常用トイレ/河川環境楽園/文化発表ができるミニルーム/各スポーツ施設やキッズスペースを利用している子供を見守れるような配置のカフェ・レストラン/格安で食事・飲み物が買える場所/子供～高校生・老人 (年金)・無職の人向けに対応/大規模大会時等全国から来た人が安く宿泊できる設備/銭湯/非常時でも使えるスマホ・他機器の充電器を多数/カフェとレストラン、売店が一緒になっているような店

1. 基本構想

上記を踏まえ、体育館に導入する施設を用途区分ごとに下表の通り整理しました。

表 導入施設

用途区分	導入施設
スポーツ系	メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、選手控室、テニスコート、フットサルコート、観覧席、トレーニング室、多目的運動室、ランニングコース、ダンスルーム、ウォーキングコース、ボルダリング、キッズルーム、アスレチック、ヨガ、トランポリン、音楽室・演奏スペース
非スポーツ系	会議室・研修室
管理部	器具庫、スタッフルーム、給湯室、医務室、放送設備（室）、防災備蓄倉庫、災害設備、避難所、避難場所、非常用トイレ（マンホールトイレ）、かまどベンチ、非常電源
共用部	更衣室、シャワー室、浴場、トイレ、手洗い場、ラウンジ、カフェ、レストラン、売店、休憩スペース（ベンチ）、広場、

上記の導入施設について、施設規模や併用の可能性等により、用途区分である「スポーツ系」、「非スポーツ系」、「管理部」、「共用部」に分類し、その概要を整理します。

1.2.1. スポーツ系

(1) メインアリーナ

○メインアリーナ

大規模なスポーツ大会の主会場やスポーツ観戦の会場として利用するほか、一般利用にも提供することを想定し、コートの縦横の幅を 40m×75m（バスケットボールコート 3 面を確保することを想定）とし、以下の施設規模を確保します。なお、同面積であってもコートの縦横幅により、対応可能な競技が変わるため、今後、優先すべき種目を精査したうえで再設定を検討します。

各競技規則に定められた規格を確保し、競技や練習の際により安全に利用できる規模とします。

スポーツ以外の集会等の利用を考慮し、音響設備をはじめ、可動ステージや吊りバトン、折りたたみ椅子の設置や競技への風の影響を考慮した空調設備の付帯を検討します。

災害時には、避難者の避難スペースや災害支援物資の集積場所として活用します。物資の移動を行いやすいように外部からのアクセス経路を確保し、搬出入用の出入口を設置します。

- ・フットサル：3 面（最大規格 1 面）
- ・バレーボール：4 面
- ・バスケットボール：3 面
- ・ハンドボール：1 面
- ・ソフトテニス：4 面
- ・卓球：25 面
- ・バドミントン：18 面
- ・体操の大会開催

○観覧席

観覧席は固定式で2階部分に約1,200席程度を設置します。大規模イベント等の開催時には、仮設のパイプ椅子等の臨時観覧席で対応するものとします。例えば、バスケットボールをセンターコートで設置し、周囲に仮設の観覧席を配置した場合には、臨時席として約2,140席程度の確保を想定します。

○選手控室

隣接する会議室（ミーティングルーム）等を選手控室として活用します。

(2)サブアリーナ

○サブアリーナ

スポーツ大会時には、練習場としてメインアリーナの補完的な役割を担う施設であるとともに、日常スポーツ活動のフロアとして多目的に利用します。

各競技規則に定められた規格を確保し、競技や練習の際により安全に利用できる規模とします。

サブアリーナはメインアリーナとの連携を考慮し、コートの縦横の幅を30m×44m（ハンドボール1面を確保することを想定）とし、以下の施設規模を確保します。なお、同面積であってもコートの縦横幅により、対応可能な競技が変わるため、今後、優先すべき種目を精査したうえで再設定を検討します。

スポーツ以外の集会等の利用を考慮し、音響設備をはじめ、可動ステージや吊りバトン、折りたたみ椅子の設置や競技への風の影響を考慮した空調設備の付帯を検討します。

災害時には、避難者の避難スペースや災害支援物資の集積場所として活用します。物資の移動を行いやすいように外部からのアクセス経路を確保し、搬出入用の出入口を設置します。

- ・フットサル：1面
- ・バレーボール：2面
- ・バスケットボール：1面
- ・ハンドボール：1面
- ・ソフトテニス：1面
- ・卓球：12面
- ・バドミントン：7面

○観覧席

観覧席は固定式で2階部分に約530席程度を設置します。大規模イベント等の開催時には、仮設のパイプ椅子等の臨時観覧席で対応するものとします。

○選手控室

隣接する会議室（ミーティングルーム）等を選手控室として活用します。

(3)武道場

柔道、剣道、空手などの競技に対応できるスペースの確保を検討します。

災害時には、避難者の避難スペースとして活用します。

(4)トレーニング室

利用者の健康体力の保持増進を目的とし、各種トレーニングマシンによる運動スペースとします。一部にストレッチ運動などが可能なスペースを確保します。

(5)ランニングコース・ウォーキングコース

健康・体力づくり、雨天時及び冬季の利活用を考慮して設置します。
メインアリーナ2階部分の観覧席の周囲に設置します（1周約270m）。

(6)キッズルーム

キッズルームは、幼児を連れた保護者が安心して子供と使用することができる運動の場、体力づくりの場として設置します。

災害時には、妊婦や幼児を抱える母親など、災害弱者が避難できるスペースとしての機能を検討します。

(7)多目的室

ミラー設備などにより、ダンスやエアロビクスなど様々なスポーツニーズに対応した施設とします。

また、壁面にはボルダリングの設備を設置するなど、特殊なスポーツに対応可能な施設として整備することを検討します。

さらには、音楽スタジオとしての利用も想定します。

災害時には、妊婦や幼児を抱える母親など、災害弱者が避難できるスペースとしての機能を検討します。

1.2.2.非スポーツ系

(1)会議室・研修室

スポーツ指導者やスポーツボランティアの研修会や講習会、さらに音楽等文化活動の場としても広範囲に利用することのできる施設とします。

災害時には、妊婦や幼児を抱える母親など、災害弱者が避難できるスペースとしての機能を検討します。

1.2.3.管理部

- ・各諸室には空調設備を計画します。
- ・機械・設備室を新総合体育館の外に配置するなどの方法を検討し、コスト削減に努めます。
- ・選手や観客、一般利用者、機材搬入等の動線に配慮した施設計画を目指します。
- ・更衣室、器具庫、スタッフルーム、給湯室、医務室等必要施設を整備します。
- ・事務室には救護室を併設し、隣接して授乳室を配置するものとします。
- ・放送設備（室）は、イベントや大会等様々な利用を想定し、全館及び部屋単位での放送ができ

るようにします。

- ・災害時等における対応のため、太陽光発電設備、自家発電設備（非常電源）、雨水再利用設備、防火水槽、調整池、防災備蓄倉庫、災害設備、非常用トイレ（マンホールトイレ）、かまどベンチ等の整備を検討します。
- ・長期避難に対応できるよう、プライバシー保護の間仕切りなど避難生活必需品や保存食料、避難活動救助関係備品などが備蓄できるよう十分なスペースの確保を目指します。

1.2.4. 共用部

- ・ユニバーサルデザインに配慮し、エレベーターや多目的トイレを設置します。エレベーターは車椅子使用者に対応し、分かりやすい位置に設置します。
- ・トイレは必要十分な数を計画し、オストメイト対応の多目的トイレの整備を検討します。
- ・市民の憩いと交流の空間を創造し、気軽に利用できるオープン形式のラウンジを検討します。
- ・市民が快適に施設を利用できるよう、開放的でゆとりのあるホールやギャラリー、ロビーを計画します。
- ・ラウンジ、カフェ、レストラン、売店、休憩スペース（ベンチ）の整備を検討します。
- ・来館者に、分かりやすい施設サイン表示とします。
- ・建物外構には、エントランス広場や緑地を計画し市民に憩いの場を提供します。また、広場は災害時の避難場所としての活用も期待します。
- ・必要な各室は同等規模の体育館の事例を参考に各室の概ねの規模を設定します。

○駐車場・駐輪場

- ・駐車場については、大会時にも対応可能である台数を確保するものとし、駐車台数は最低 600 台程度を確保するものとして想定します（アンケートより、大会時の想定必要駐車場台数としての約 500 台にトレーニング等利用者の約 100 台を想定）。
- ・また、大型バス用駐車スペース、障害者用駐車スペースを確保します。
- ・駐輪場については、多くの市民の利用が見込まれるため、建物に近接し十分なスペースを整備します。
- ・災害時の避難先としての活用も想定し、十分な広さを確保します。

1.2.5. 主要施設規模

各競技の競技規則における規模等を参考に、要望や他事例の状況を踏まえて、以下のとおり施設規模を想定しています。なお、ここで示す施設規模は今後の基本計画において変動しますが、現段階では各部屋の規模設定及び全体面積に極端に影響が出ない範囲とするための概ね妥当な規模を設定するものです。

現総合体育館における大会の開催は、スポーツ協会の各団体による協議により、実施されていることから、新総合体育館においても異なる種目の大会が重複することはないと考えます。そのため、最大公約数となる規模を基準とします。

なお、ここでの観客席については、他市事例より、固定観客席をアリーナ面積の20%程度、1席当たり0.5㎡を想定します。

表 想定施設規模一覧

分類	施設	想定床面積	概要
スポーツ系	メインアリーナ	約 3,600 ㎡	○固定観覧席：約 600 ㎡（約 1,200 席） ○コート面積：約 3,000 ㎡（40m×75m） 以下の競技の対応が可能 ・フットサル：3 面（最大規格 1 面） ・バレーボール：4 面 ・バスケットボール：3 面 ・ハンドボール：1 面 ・ソフトテニス：4 面 ・卓球：25 面 ・バドミントン：18 面 ・体操の大会開催
	サブアリーナ	約 1,585 ㎡	○固定観覧席：約 265 ㎡（約 530 席） ○コート面積：約 1,320 ㎡（30m×44m） 以下の競技の対応が可能 ・フットサル：1 面 ・バレーボール：2 面 ・バスケットボール：1 面 ・ハンドボール：1 面 ・ソフトテニス：1 面 ・卓球：12 面 ・バドミントン：7 面 ・空手・柔道・剣道：4 面

分類	施設	想定床面積	概要
			(サブアリーナの半分を武道利用に想定。畳等を仮設で設置し対応する)
	武道場	約 400 m ²	以下の競技の対応が可能 ・空手：2 面 ・柔道：2 面 ・剣道：2 面 ※相撲の土俵については、 屋外の屋根付きのスペースに検討
	トレーニングルーム	約 850 m ²	現総合体育館のトレーニング ルーム約 213 m ² 約 4 倍を想定
	ランニングコース・ウォーキングコース	約 670 m ²	ランニングコース 1. 2m幅×2 レーン 1 周約 270m アリーナ (40m×75m) を囲う 客席 (奥行約 5mを想定) の外 周に設置を想定 (想定総延長 270～289. 2m) ※延長は客席の配置等により 変動する 雨天練習場として想定
	多目的室 (トランポリンや体操、 ダンスやボルダリング を含む複数の種目及び 音楽スタジオ等にも対 応できるスペースを有 するスペース)	約 280 m ²	70 人程度収容可能なフィッ トネススタジオを参考に想定
	キッズルーム	約 100 m ²	事例を参考に想定
	小計	約 7, 485 m ²	
非スポーツ系	会議室・研修室	・ 20 人規模の会議 室 ： 50 m ² × 3 部屋 約 150 m ²	20～50 人程度の会議に対応 可能な広さの会議室想定。
	小計	約 150 m ²	
管理部	器具庫	約 1, 230 m ²	事例平均より総面積の 10% 程度と想定
	倉庫	※導入施設につい	

1. 基本構想

分類	施設	想定床面積	概要
	事務室	ては、今後要検討	
	放送室（設備）		
	機械・設備室		
	防災備蓄倉庫等		
	スタッフルーム		
	医務室		
共用部	手洗い場	約 3,450 m ² ※導入施設については、今後要検討	事例平均より総面積の 28%程度と想定
	トイレ		
	シャワー室		
	浴場		
	更衣室		
	給湯室		
	ホール・ロビー等		
	廊下等		
	エレベーター		
	エスカレーター		
	ラウンジ		
	カフェ		
	レストラン		
	売店		
	休憩スペース		
総面積		約 12,300 m ²	—

以上のことから、建物延床面積は、約 12,300 m²程度が必要と考えられます。

なお、敷地規模については、建物のほか、駐車場・駐輪場や広場等について検討したうえで設定します。

1.3. 規模の比較

1.3.1. 比較プラン

1.2 にて想定した施設規模を基準に、より機能を充実させた A 案、近隣他事例を参考に縮小させた C 案を想定し、以下の 3 つの案について、比較します。

管理部及び共用部については、スポーツ系及び非スポーツ系とのバランスを踏まえて、他事例を参考に設定しました。

なお、観覧席の数については、メインアリーナ及びサブアリーナのコートに対する席の配置によって変動します。下表中では、想定コートサイズを踏まえ配置を想定しました。

表 比較対象一覧表

		A 案	B 案	C 案
想定規模		約 19,000 m ² ～20,000 m ² 程度	約 12,000 m ² ～13,000 m ² 程度	約 9,000 m ² ～10,000 m ² 程度
導入施設	スポーツ系	メインアリーナ (40m×100m) ・バスケットボール 4 面 ・ハンドボール 2 面 ・フットサル (最大規格) 2 面 サブアリーナ (40m×50m) ・バスケットボール 2 面 武道場 ・柔道場 2 面、剣道場 2 面 観覧席 (固定) ・メイン (ロの字配置を想定) : 約 1,600～1,760 席 ・サブ (コの字配置を想定) : 約 800～880 席 観覧席 (臨時) ・メイン : 約 3,020 席 ・サブ : 約 1,260 席 トレーニングルーム、 多目的室、キッズルーム、 ランニングコース・ウォーキングコース	メインアリーナ (40m×75m) ・バスケットボール 3 面 ・ハンドボール 1 面 ・フットサル (最大規格) 1 面 サブアリーナ (30m×44m) ・バスケットボール 1 面 武道場 ・柔道場 2 面 観覧席 (固定) ・メイン (ロの字配置を想定) : 約 1,200～1,440 席 ・サブ (長辺二辺配置を想定) : 約 530～560 席 観覧席 (臨時) ・メイン : 約 2,140 席 ・サブ : 約 1,080 席 トレーニングルーム、 多目的室、キッズルーム、 ランニングコース・ウォーキングコース	メインアリーナ (40m×50m) ・バスケットボール 2 面 ・ハンドボール 1 面 ・フットサル 1 面 サブアリーナ (25m×38m) ・バスケットボール 1 面 武道場 ・柔道場 2 面 観覧席 (固定) ・メイン (ロの字配置を想定) : 約 800～1,140 席 ・サブ (長辺一辺配置を想定) : 約 180～380 席 観覧席 (臨時) ・メイン : 約 1,260 席 ・サブ : -席 トレーニングルーム、 多目的室、キッズルーム、 ランニングコース・ウォーキングコース
	非スポーツ系	会議室	会議室	会議室
	管理部	器具庫、倉庫、 控室、審判室、 事務室、風除室、 機械室、備蓄倉庫、 A/C、ファンルーム	器具庫、倉庫、 控室、審判室、 事務室、風除室、 機械室、備蓄倉庫、 A/C、ファンルーム	器具庫、倉庫、 控室、審判室、 事務室、風除室、 機械室、備蓄倉庫、 A/C、ファンルーム
	共用部	トイレ、更衣室 ロビー、通路 エレベーター	トイレ、更衣室 ロビー、通路 エレベーター	トイレ、更衣室 ロビー、通路 エレベーター

1.3.2.3つの案の施設配置モデル

3つの案について、各諸室の配置を想定したバルーン図（諸室規模をバルーンの大きさに反映）を作成し、ケーススタディのモデルとします。

なお、施設の階数、構造は、A、B、C案とも共通と仮定し、施設外の道路や駐車場等の位置は、施設配置に合わせ、望ましい位置への配置を今後検討します。詳細な面積は、今後、基本計画及び基本設計にて、想定される利用者に応じたトイレ（W.C）やエレベーター（EV）等の共用部部分の必要規模の検討や柱や梁の配置等検討を踏まえ、空間配置を考慮したうえで算出します。

■ スポーツ系 ■ 非スポーツ系 ■ 管理部 ■ 共有部

※共用部の破線は配置想定位置

	A 案（約 19,000 m ² ～20,000 m ² 程度）	B 案（約 12,000 m ² ～13,000 m ² 程度）	C 案（約 9,000 m ² ～10,000 m ² 程度）
1 階			
	約 14,000～15,000 m ²	約 9,000～10,000 m ²	約 7,000～8,000 m ²
2 階			

	A 案 (約 19,000 m ² ～20,000 m ² 程度)	B 案 (約 12,000 m ² ～13,000 m ² 程度)	C 案 (約 9,000 m ² ～10,000 m ² 程度)
	約 5,000～6,000 m ²	約 3,000～4,000 m ²	約 1,000～2,000 m ²
3 階			
	約 300～400 m ²	約 300～400 m ²	約 200～300 m ²

※ 3 階は設備設置のために必要

スポーツ系
 非スポーツ系
 管理部
 共有部

1.3.3. 概算事業費の算出

概算事業費として、施設整備に係る概算工事費及び想定維持管理費を算出しました。

(1) 概算工事費（施設整備費）

3つの案について、同規模の他事例を参考に面積当たり単価を算出し、概算工事費を試算すると以下の通りです。

表 事例による概算工事費の算出結果

	延床面積	m ² あたり単価	試算結果
A 案	約 19,000 m ² ～20,000 m ² 程度	59.0 万円/m ²	約 112 億円 ～118 億円程度
B 案	約 12,000 m ² ～13,000 m ² 程度	56.7 万円/m ²	約 68 億円 ～73 億 7 千万円程度
C 案	約 9,000 m ² ～10,000 m ² 程度	50.8 万円/m ²	約 45 億 7 千万円 ～50 億 8 千万円程度

(2) 概算維持管理費等

市の実質的な負担額は、維持管理費から利用収入を除いた金額になります。

他事例による面積あたりの単価は、事例ごとに大きな差が出る結果となっており、利用料金の設定や、興行の利用等、運営の状況によって大きく変動すると考えられます。

3つの案について、他事例を参考に面積当たり単価を算出し、概算維持管理費等を試算すると以下の通りです。

表 概算維持管理費等の算出結果
(運営状況により大きく変動するため参考値)

	延床面積	維持管理費 (X)	利用料収入 (Y)	実質負担額 (X-Y)
	事例平均	12.5 千円/m ²	3.9 千円/m ²	8.5 千円/m ²
A 案	約 19,000 m ² ～20,000 m ² 程度	約 2 億 4 千万円 ～2 億 5 千万円程度	約 7 千万円 ～8 千万円程度	約 1 億 6 千万円 ～1 億 7 千万円程度
B 案	約 12,000 m ² ～13,000 m ² 程度	約 1 億 5 千万円 ～1 億 6 千万円程度	約 5 千万円程度	約 1 億円 ～1 億 1 千万円程度
C 案	約 9,000 m ² ～10,000 m ² 程度	約 1 億 1 千万円 ～1 億 3 千万円程度	約 4 千万円程度	約 8 千万円 ～9 千万円程度

<他事例>

※イベントについては、2019 年度及び 2020 年度に行われたもので、1 日あたりの来場者が 1,000 人以上のものを抜粋して記載

A 案（延床面積 15,000 ㎡超）

	人口	オープン 年度	延床面積	施設整備費 (用地費除く)	維持管理費 (X)	利用料収入 (Y)	実質負担額 (X-Y)	備考
事例 A-1	46.7 万人	2020	16,599 ㎡	97 億 3400 万円	173,689 千円	59,000 千円	114,689 千円	指定管理 R2 予算額
	㎡単価			58.6 万円/㎡	10.5 千円/㎡	3.6 千円/㎡	6.9 千円/㎡	
	年度	イベント名					開催日数	延べ来場者 数
	2020	全日本インカレ体操					8 日	8,000 人
		Bリーグ広島ドラゴンフライズホームゲーム					2 日	3,000 人
事例 A-2	26.9 万人	2019	16,803 ㎡	95 億 7000 万円	159,333 千円	31,238 千円	128,095 千円	指定管理 R 元決算額
	㎡単価			57.0 万円/㎡	9.5 千円/㎡	1.9 千円/㎡	7.6 千円/㎡	
	年度	イベント名					開催日数	延べ来場者 数
	2019	B.LEAGUE レギュラーシーズン公式戦					23 日	53,013 人
		市制施行 130 周年記念 水谷隼選手と青少年育成卓球フェスティバル					2 日	2,500 人
		沼尻直杯第 45 回全国中学生レスリング選手権大会 (いきいき茨城ゆめ国体レスリング競技リハーサル大会)					3 日	4,400 人
		第 74 回国民体育大会 (レスリング)					9 日	9,426 人
		第 14 回東日本はかまつか杯ドッジボールカラーコートオープン大会					1 日	1,000 人
		Vリーグバレーボール日立リヴァーレ公式戦					3 日	3,896 人
	2020	茨城ロボッツプレシーズンゲーム 2020 VS 宇都宮ブレックス					1 日	1,835 人
		B.LEAGUE レギュラーシーズン公式戦 (予定含む)					28 日	28,251 人
第 2 回関東ジュニアドッジボール選手権大会 (予定)					1 日	1,500 人		
事例 A-3	31.2 万人	2020	17,548 ㎡	107 億 6600 万 円	192,280 千円	60,152 千円	132,128 千円	R2 予算額 正職員人件 費含まず
	㎡単価			61.4 万円/㎡	11.0 千円/㎡	3.4 千円/㎡	7.5 千円/㎡	
	年度	イベント名					開催日数	延べ来場者 数
	該当なし							

1. 基本構想

B 案（延床面積約 12,000 m²程度）

	人口	オープン 年度	延床面積	施設整備費 (用地費除く)	維持管理費 (X)	利用料収入 (Y)	実質負担額 (X-Y)	備考
事例 B-1	20.1 万人	2016	13,550 ㎡	60 億 7700 万円	155,713 千円	79,064 千円	76,649 千円	R 元決算額 正職員人件 費含まず
	㎡単価			44.8 万円/㎡	11.5 千円/㎡	5.8 千円/㎡	5.7 千円/㎡	
	年度	イベント名					開催日数	延べ来場者 数
	2019	B リーグ公式戦					20 日	50,000 人
		S/J リーグ公式戦					1 日	2,750 人
		新日本プロレス					1 日	1,980 人
		ライブ					1 日	3,150 人
2020	B リーグ公式戦（予定含む）					18 日	27,000 人	
事例 B-2	26.1 万人	2017	13,934 ㎡	64 億 1000 万円	106,350 千円	24,093 千円	82,257 千円	R 元決算額 (光熱水費 は周辺の運 動公園を含 めたもの)
	㎡単価			46.0 万円/㎡	7.6 千円/㎡	1.7 千円/㎡	5.9 千円/㎡	
	年度	イベント名					開催日数	延べ来場者 数
	2019	全日本 6 人制クラブカップ女子選手権大会					4 日	4,500 人
		2019 プレミアム体操福井第 5 2 回全日本シニア・マスターズ体操選手権大会					5 日	6,190 人
		V プレミアリーグ男子福井大会					2 日	7,350 人
	2020	はぴりゅうフェスタ（スポーツフェス）					1 日	2,000 人
事例 B-3	33.5 万人	2020	12,491 ㎡	99 億 750 万円	205,349 千円	61,563 千円	143,786 千円	指定管理 R3 予算積算 額
	㎡単価			79.3 万円/㎡	16.4 千円/㎡	4.9 千円/㎡	11.5 千円/㎡	
	年度	イベント名					開催日数	延べ来場者 数
	プロスポーツ等の定期的な興行を行う予定なし							

C 案（延床面積約 9,000 m²以下）

	人口	オープン 年度	延床面積	施設整備費 (用地費除く)	維持管理費 (X)	利用料収入 (Y)	実質負担額 (X-Y)	備考
事例 C-1	7.3 万人	2016	6,500 ㎡	31 億 7500 万円	145,144 千円	36,008 千円	109,136 千円	指定管理 (周辺の運 動公園を含 めたもの)
	㎡単価			48.8 万円/㎡	22.3 千円/㎡	5.5 千円/㎡	16.8 千円/㎡	
	年度	イベント名					開催日数	延べ来場者 数
	該当なし							
事例 C-2	8.8 万人	2020	7,769 ㎡	45 億 2300 万円	—	—	110,000 千円	PFI
	㎡単価			58.2 万円/㎡			14.2 千円/㎡	
	年度	イベント名					開催日数	延べ来場者 数
	2019	卓球Ｔリーグ 木下マイスター東京 vs 岡山リベッツ（※プレオープン期 間）					1 日	1,268 人
事例 C-3	10.0 万人	2018	8,300 ㎡	37 億 5300 万円	92,031 千円	38,840 千円	53,191 千円	R 元決算額 正職員人件 費含まず
	㎡単価			45.2 万円/㎡	11.1 千円/㎡	4.7 千円/㎡	6.4 千円/㎡	
	年度	イベント名					開催日数	延べ来場者 数
	興行や不特定多数の人が集まる会議等を行う予定なし							

施設整備費 m²あたり単価事例平均

	施設整備費 (用地費除く)
A 案	59.0 万円/m ²
B 案	56.7 万円/m ²
C 案	50.8 万円/m ²

維持管理費等 m²あたり単価事例平均

維持管理費 (X)	利用料収入 (Y)	実質負担額 (X-Y)
12.5 千円/m ²	3.9 千円/m ²	8.5 千円/m ²

※維持管理費と利用料収入が不明である事例 C-2 を除いた全体の平均

1.3.4. 体育館の活用とにぎわい創出の事例

体育館の整備後に興行等を開催し、人を呼び込むことで、地域の活性化を図ることができると想定されます。

興行等の開催に伴い、宿泊や食事等の需要が創出されるなど経済効果もあります。

<ぎふ清流国体における各競技の開催実績>

※各市町村の実行委員会による報告書より抜粋

○種目 バスケットボール

会場地市町村 高山市

競技会場施設名 飛騨高山ビッグアリーナ（延床面積 9,570m²）ほか

来場者延べ人数 延べ 50,730 人

宿泊者延べ人数 5,782 人（選手及び役員）

弁当数 5,291 食（選手、役員、スタッフ等）

○種目 卓球

会場地市町村 岐阜市

競技会場施設名 ヒマラヤアリーナ（延床面積 8,188 m²）
（現 OKB ぎふ清流アリーナ）

来場者延べ人数 延べ 15,898 人

宿泊者延べ人数 2,767 人（選手及び役員）

弁当数 2,728 食（選手、役員、スタッフ等）

○種目 バレーボール（少年男子）

会場地市町村 山県市

競技会場施設名 山県市総合体育館（延床面積 4,974 m²）

来場者延べ人数 延べ 15,920 人

宿泊者延べ人数 1,337 人（選手及び役員）

弁当数 7,849 食（選手、役員、スタッフ等）

○種目 バドミントン

会場地市町村 池田町

競技会場施設名 池田町総合体育館（延床面積 6,293 m²）

来場者延べ人数 延べ 20,747 人

宿泊者延べ人数 1,872 人（選手及び役員）

弁当数 2,549 食（選手、役員、スタッフ等）

また、スポーツ施設単体でなく、他の用途の施設を含む複合施設として整備することや、地域一体に多くの施設を集積することによって、日常に市民が集まる仕組みを構築、にぎわいを創出し、地域の活性化に繋げた事例も挙げられます。

① スポーツ施設の一部に他の用途の施設を含むもの（複合施設）

事例として、アオーレ長岡は、まちなかの市民活動拠点として機能するとともに、公共施設と一体に整備されることにより、行政機能を求めてきた市民に体育・健康に興味を持つ機会を提供しています。

各務原市新総合体育館整備においても、体育機能だけでなく、市民交流が期待できる機能を導入することで、市民交流の拠点として活用されることが期待されます。

【アオーレ長岡】 アリーナ+市民交流ホール/市役所	所在地：新潟県長岡市 人 口：約 26.7 万人 概 要：あらゆる世代の多様で自発的な活動を実現する場として、市民活動の「ハレ」の場として、皆が憩い集う『市民交流の拠点』を目指し、屋根付き広場「ナカドマ」を中心に、アリーナ、市民交流スペース、行政機能、議会などの機能が一体となった複合型公共施設。 効 果： ・休日のまちなか歩行者数 1.5 倍に増加 ・空き店舗数 47%減少 ・まちなかの店舗数 年々増加 (出典：市民協働・交流の拠点 複合施設「アオーレ長岡」(長岡市)) 参 考：https://www.ao-re.jp/
	

② 特に日常に市民が集まる仕組みを構築、にぎわいを創出しているスポーツ施設

事例として、オガールプラザ・オガールベースは、体育施設の周辺にも集客施設や文化施設が配置されることにより、個々の施設の利用者が、他施設にも相互に行き来することで地域一帯の経済活性化が図られたものです。

各務原市においても、事業対象エリアである、各務山の前地区周辺は、弓道場の整備と本事業による新総合体育館の整備により、既存のスポーツ広場と併せて体育機能の強化が図られ、国道 21 号沿線の商業施設等との連携による地域経済の活性化が期待されます。

1. 基本構想

【オガールプラザ】 産直市場/ 図書館/ 子育て応援センター /カフェ等 【オガールベース】 バレーボール専用アリーナ/ ビジネスホテル/コンビニエンスストア等 ※その他、庁舎、広場、公園等をオガールプロジェクトとして一体的に整備	所在地：岩手県紫波郡紫波町 人 口：約 3.3 万人 概 要：地方創生の文脈でよく語られる、岩手のオガールプロジェクトにおいて、バレー競技に特化した体育館を含む複合施設（オガールベース）と、産直市場、行政施設、図書館を含む複合施設（オガールプラザ）などを一体的に整備した事例。 効 果： ・地価公示価格 8 年間で 11.43%上昇 ・交流人口 104 万人 ・定住人口 620 人 ・雇用者数 250 人 （出典：PPPによる駅前公有地開発-オガールプロジェクトの価値-（紫波町）） 参 考：https://ogal.info/
	